

幼稚園選びの低年齢化に対応したい

新園舎『子育ての森「どんぐり」』新設

2021年7月工事開始、2022年3月竣工予定

麗澤幼稚園（千葉県柏市/園長：岡田 喜）は、2022年3月竣工予定で新園舎子育ての森「どんぐり」を新設します。

現在、幼稚園選びは低年齢化が進んでおり、3年保育の1つ下の学年の満3歳児保育のニーズが高まっております。麗澤幼稚園でも、保護者の方々をはじめとする多くの方々よりご要望をいただき、満3歳児のお子様を受け入れる為の施設として、また、近年就労される保護者の方々の割合が多くなったことに伴う、預かり保育を充実するための施設として、新園舎の建設を決定いたしました。

『子育ての森「どんぐり」』（以下：「新園舎どんぐり」）は、どんぐりのように小さな子ども達から、パパ・ママ子育て世代の方々、おじいちゃん・おばあちゃんまで様々な世代の方々が、子育てを通じて集まり、賑やかで豊かな森となるようにとの願いを込めて命名されました。

「新園舎どんぐり」では、現在、本園で行っている未就園児対象の「うさぎルーム」や「満3歳児保育」を実施する保育室3部屋を設置予定です。また、どんぐり内には子育て支援のためのホールも整備し、満3歳児の遊戯室としての利用だけでなく、近年保護者の方々から要望が高まっている「預かり保育」をより広いスペースで実施できるように致します。

南側には未就園児用の園庭も整備し、子ども達が思いっきり遊べる空間といたします。北側にある子育て支援ホール前には廣池学園の広大な芝生広場が広がり、中央広場が一望できます。

園長の岡田喜（おかだ よし）は「満3歳児を含めた2歳児の受け入れや、預かり保育の充実をするにあたり、教育スペースの確保は大きな課題となっていました。幼児教育を行ううえで、優れた環境を整えることはとても重要です。今回、「新園舎どんぐり」を含めた広い空間が準備できたことで活動の幅も広がり、より発達に即した保育が可能となります。子ども達が初めて経験する集団生活の場所として、伸び伸びと遊べる環境を準備し、健やかな成長のサポートを通じて子育て支援を継続したいと考えております。」とコメントしています。

【子育ての森「どんぐり」概要】

- ◆設置目的：満3歳児保育教室の設置及び、預かり保育スペース拡充のため
- ◆建設期間：2021年7月～2022年3月
- ◆建築面積：523.95㎡
（保育室 3室、ホール1室）
- ◆園庭面積：約319㎡
※遊具・砂場を含む



▲子育ての森「どんぐり」イメージ（全景）

【麗澤幼稚園について】

麗澤幼稚園は昭和55年に開園しました。開園以来、創立者である廣池千九郎（法学博士）が提唱した教育方針を継承し、保育に取り組んでいます。教育目標として「やさしく思いやりのある子」「ありがとうが言える子」「自分のことは自分でする子」を掲げています。2021年度より英語教育を導入し、日常の幼稚園生活に英語をプラスし、教職員一同心をひとつに幼児教育からのグローバル教育活動を展開しています。

【取材に関するお問合せ先】学校法人廣池学園 麗澤幼稚園 URL: <http://www.kg.reitaku.jp/>

〒277-8686 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1 TEL: 04-7173-3526 FAX: 04-7173-3534

広報担当：服部（はっとり）・中村（なかむら）Email: pr@reitaku-u.ac.jp